

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：3歳児クラス)

モニカ荏原中延園

Monica

テーマ

光と影

設定理由

戸外活動の際に、様々な公園に行くと自分たちの影を見つけていた。「これなに?」「動いてるよ」と興味津々で影に興味を持っていた。戸外遊びの中で自然に影を発見しやすかった。また、室内でも懐中電灯を使って影探しを行い、影の存在に気づき興味を持っていた。「自分の影」「友だちの影」といった身近な不思議を通して自然現象に興味を持っていくと感じたので設定した。

対象クラス

3歳児クラス・5名

活動のねらい

光や影に気づき、不思議に思う気持ちを大切にしながら自ら試し考える体験をする。

問　い

「光と影って何?」
「どうして影の形が変わったのかな?」
「光と陰でどんな形ができるかな?」

活動期間

令和7年7月～10月

活動回数

計4回

活動①

【7月】光の存在に気づく。(7/16・7/18・7/30)

活動内容

戸外先で影を探したり、室内で懐中電灯を使って影を探す。また、子どもたちがやってみたいことを取り入れて行う。(玩具や素材の映り方)

活動②

【8月】光の向き、強さによって影が変わることに気づく。 (8/6・8/8・8/20・8/22)

活動内容

懐中電灯を使い、実際に動かしたり距離を変えて影がどのように動くかを見してみる。カラーセロファンを取り入れ、その違いも発見する。

活動③

【9月】 様々な素材の光との通り方や影の映り方の違いに気づく。
(9/16・9/19・9/29)

活動内容

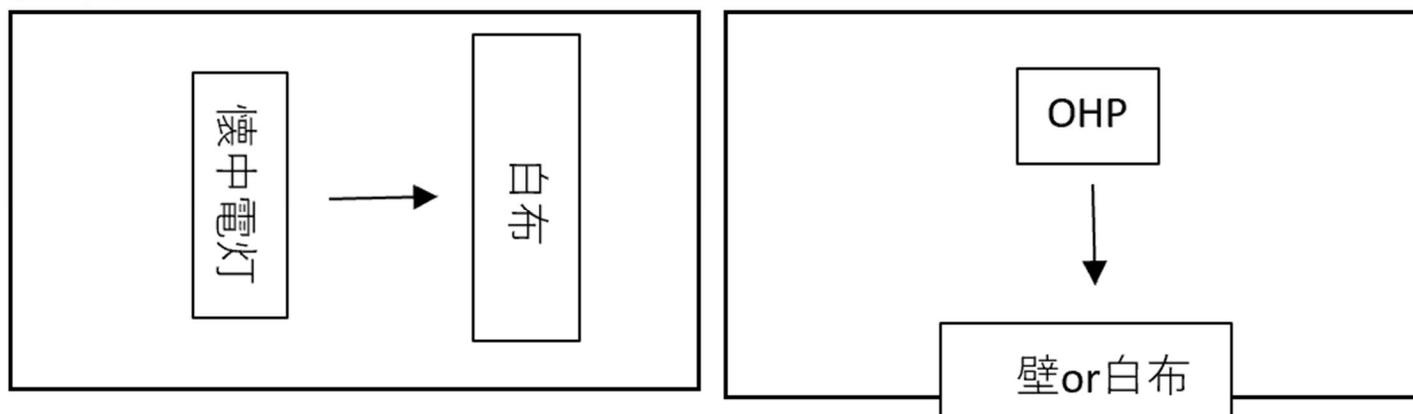
様々な素材を集めてOHPに映し出し、懐中電灯との違いを発見する。一人一人の表現する楽しさを味わっていく。

活動②

【10月】 影の大きさや形の変化に気づき、遊びながら不思議さを味わう。
(10/2・10/8・10/14・10/23)

活動内容

自然物や透明なもの、身近なものを使い一人一人の表現する楽しさや光の不思議さを味わう。



何の影？



影絵遊びをしました。

「おもちゃでもやってみたいなあ」

そんな声が聞こえたので、1人1つ好きなおもちゃを持って

白い布の裏へ…

「面白い影だね」

「この布テレビみたい！」

ワクワクが止まりません。



今度はお友達と入ってみることに。

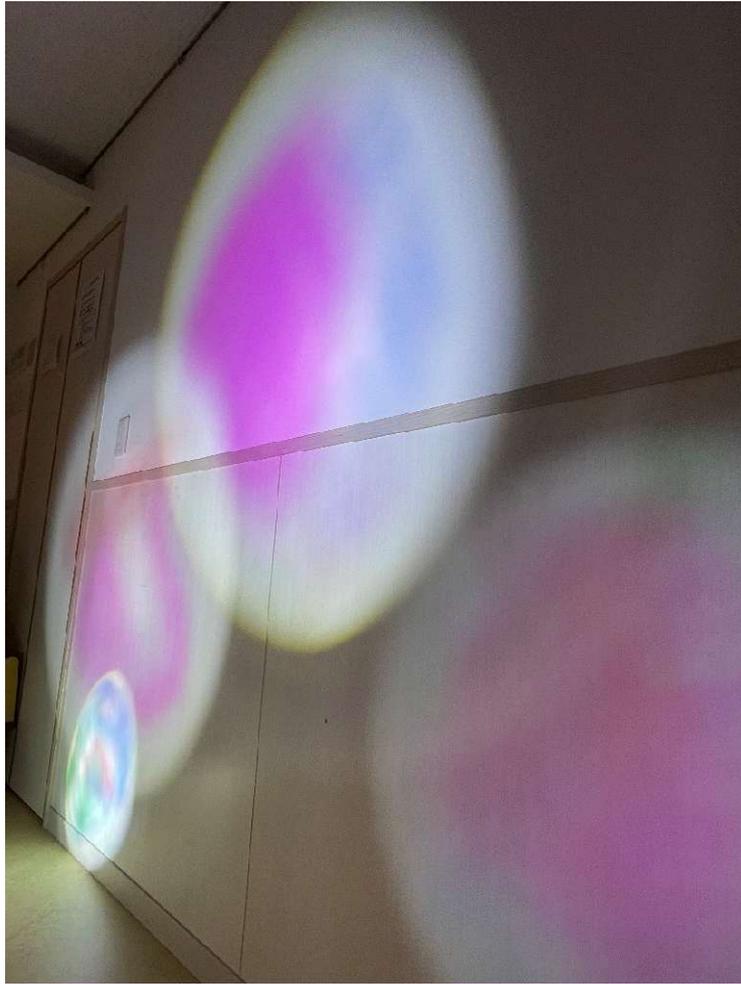
「わ！すごい大きくなった！」

手を繋いでみると…

「なんか変な形になってる！」

布の裏側でも笑顔の子どもたちです。

光の輪郭



紙コップと透明の袋を使ってオリジナルライトを作りました。

「どんな絵にしようかな?」「ハート描いてもいいの?」

完成した紙コップに懐中電灯をつけると…?

「見てみて!お月さまみたい!」

「ピンクはシャボン玉みたいだよ!」

ライトを離すと綺麗な模様になり、近づけると自分たちが描いた絵が浮かび上がってきました。

「みんなで動かしたらどうなるかな?」

と壁に向けてみんなでライトを動かして楽しんでいました。

自分だけのライトを作ることができ、子どもたちも目を輝かせて遊んでいます。

次はどんな光と影で遊ぶかを楽しみにしています。

R7.9.19 きりん組 齋藤

光の世界



OHP という機械を使って光と影で遊びました。

自分たちで描いた絵を映してみると…？
なんと壁いっぱい可愛い背景が広がりました。

「みて！絵が映ってる！」

「すごいすごい！」

と、自分の絵が光で大きくなる瞬間に
大喜びでした。



次は室内にある玩具で試してみました。

おままごとのパンを乗せてみると…？

大きなパンの影が映りだし

「ほんとのパンみたい！」

「食べられるかな？」

「食べる真似してみる！」

と子どもたちも大盛り上がりでした。

何に見えるかな？



公園で葉っぱを見つけました。
「綺麗だね」「いろんな色があるよ！」「たくさん拾おう！」

子どもたちがたくさん袋に拾い集め…

「光に当てたらどうなるかな？」

と、子どもたちから声が聞こえたので OHP で当ててみることにしました。

「恐竜みたい！」



「こうもりみたい！」



「虹色の葉っぱだ！！」



拾った葉っぱを OHP に置いてみました。

子どもたちの発想が豊かでとても面白かったです。

虹色の葉っぱに見立てたものは
「透明で色がついたもの置きたい！」
という声から置いてみました。

保育者が想像していたよりもとてもきれいに映し出されていて
子どもたちも大盛り上がりでした。

次は何を拾おうか考えている子どもたちです。

落ちた葉っぱってどうなるの？



散歩でたくさんの葉っぱに触れてきたきりん組。
「葉っぱが落ちた後ってどうなるのかな？」の問いかけに
「つるつるになる！」「ぐちゃぐちゃになる」「無くなっちゃう！」
たくさんの意見が出てきました。

図鑑をめくっていくとたくさんの虫が食べていることに気づきました。
「え、ダンゴムシが食べてる！」「ミミズも食べるんだね」

葉っぱが落ちて終わりではなく、その後も変化が続いていくことに
少しずつ気づき始めている子どもたち。

身近な自然に「どうして？」「どうなるの？」と興味をもつ姿が増えてきました。

今後は実際に腐葉土を作っていこうと考えています。

使用物

OHP | 暗幕(4) | カラーセロファン(赤、黄、青) | 懐中電灯(4) | スタンドライト(2)
ライトニングテーブル(1) | 白布(1) | ガムテープ
素材 (ひも、綿、葉っぱ、きらきらするもの)

テーマ：光と影

全体の振り返り

戸外で影を見つけてから広がった光と影遊びだったが、子どもたち自身もどうして影ができるのかや影の不思議について知ろうとする姿があった。自由に懐中電灯で照らしたり、OHPを用いて影遊びを子どもたち自身で探しながら遊ぶことができていた。自然の物も使用し、たくさん遊んでいる姿が見られた。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ荏原中延園

〒142-0052
東京都品川区東中延1-6-2
TEL:03-6421-6740
FAX:03-6421-6741